

あなたと  
NOSAIをつなぐ  
かけはし



**P2** 年頭のあいさつ  
NOSAIの役割を再認識

**P4-5** 建物共済  
保険金トラブルが増えています

**P6-7** 収入保険  
収入保険加入で経営充実





# NOSA Iの役割を再認識

組合長理事 田中 肇



## 年頭のあいさつ

組合員の皆様には、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から当組合に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

◇◇◇  
 昨年は、元日に発生した能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7を観測した記録的な大規模地震から始まりました。  
 また、地震からの復旧・復興途中の9月には、能登北部に記録的な大雨が発生。輪島市では観測史上最大の24時間

雨量412ミリを記録するなど、未曾有の豪雨災害に見舞われました。

度重なる災害で亡くなられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

◇◇◇  
 大規模な自然災害が、本県を含め各地で発生し、NOSA I団体の役割が極めて大きいことを改めて感じているところであります。

◇◇◇  
 依然として、終息が見えないウクライナ情勢により、原油および肥料や飼料の価格高騰が続いています。しかしながら「令和の米騒動」により、令和6年産米の買い取り価格が大きく値上がりしたことは、農業経営にとって明るい兆しとなっております。

◇◇◇  
 収入保険では、能登半島地震後、被災農業者の経営継続

や営農再開の後押しを目的に、気象災害で被災後、1年以内に作付・収穫が見込まれていた農作物に限り、補償可能とする改正がなされました。  
 また保険料等の一部を助成いただける市町も増え、安心して加入できるようになりました。

## より身近に より丁寧に すべての農家に 安心を

◇◇◇  
 農業経営の基幹的なセーフティネットとしての農業保険を、農業の生産現場により深く浸透させ、安心をすべての農家に届けるため、役員一同、より身近に、より丁寧に、農家の皆さまと接していきたいと考えております。

◇◇◇  
 最後になりましたが、本県農業の発展と組合員の皆様のご多幸を祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

明るく一年に  
なりますよう  
お祈り申し上げます

- |        |       |
|--------|-------|
| 組合長理事  | 田中 肇  |
| 副組合長理事 | 東元 勉  |
| 専務理事   | 南 範彰  |
| 理事     | 大宮 正  |
| 理事     | 河原東洋史 |
| 理事     | 室住 吉隆 |
| 理事     | 酒井 実  |
| 理事     | 新家 成健 |
| 理事     | 池本外季伸 |
| 理事     | 裏 秀和  |
| 理事     | 叶田 明弘 |
| 理事     | 中山 敏康 |
| 理事     | 伊藤 正浩 |
| 理事     | 宮下 祐幸 |
| 代表監事   | 田中 一男 |
| 監事     | 村上 茂  |
| 監事     | 観音 幸助 |
| 職員一同   |       |

## 早期支払いにむけて調査

昨年9月に発生した奥能登豪雨により、広い範囲で川の氾濫や土砂崩れが発生しました。圃場の冠水や土砂の流入などの農業被害、建物の床上や床下浸水被害が多数確認されました。

地震被害から懸命に生活再建と営農再開に取り組んできた奥能登地域では、落胆した様子で土砂や流木を片付ける農家の姿が見られました。

NOSA Iでは、立ち入り可能な地域から順次調査を進め、迅速な共済金支払いに取り組みました。

令和6年9月  
奥能登豪雨



押し流された建物



変形したハウス



草木が流れ込んだ水田



浸水した農作業場



住宅の被害調査



集落内に土砂崩れ



土砂に押しつぶされたハウス



対象となる事故		共済種類	
		火災共済	総合共済
火災等の事故	火災	○	○
	落雷	○	○
	破裂・爆発	○	○
	外部からの物体の落下・飛来・衝突 ※1	○	○
	給排水設備の事故などによる水濡れ ※2	○	○
	盗難によるき損・汚損	○	○
自然災害	騒乱に伴う破損行為による損害	○	○
	風水害	×	○
	雪害	×	○
	土砂崩れ	×	○
	地震・津波・噴火 加入共済金額の50%を限度	×	○

※1 建物内部での車両の衝突・接触も補償します。自然災害は除きます  
 ※2 蛇口の閉め忘れや老朽化は除きます

火災・落雷等に備えて

# 火災共済

加入できる金額(1棟あたり)  
建物と家具類等を合わせて…

## 6,000万円

自然災害・地震等に備えて

# 総合共済

加入できる金額(1棟あたり)  
建物と家具類等を合わせて…

## 4,000万円

**特約** 臨時費用担保特約を  
おすすめします

臨時費用担保特約を付帯すると、損害により臨時に生じる費用として、損害共済金に臨時費用共済金をプラスしてお支払いします。(地震等による事故を除く)

給付割合は  
30%・20%・10%から  
加入者が選択できます。  
(1回の事故につき250万円が限度)



建物共済  
**保険金トラブルが増えています**  
 建物の経年劣化は、保険金の支払対象になりません  
 日本損害保険HPより

保険に加入していれば、自己負担はありませんよ

もともと壊れている部分も大丈夫かな…

地震で壊れた部分も、火災保険で修理できますよ

保険で直せるならお願いしようかな…

**STOP!**  
**ちょっと待って!**

保険が使えると言われたら  
 まずはNOSAI(保険会社)へご連絡ください

あわないために  
 トラブルに

**被害の発生通知**  
 すみやかに  
 お電話を  
 事故が発生したら、早急にNOSAIへ連絡してください。共済金のお支払いには、修理する前の状況確認が必要となります。

**ポイント2**  
 修理等の依頼は  
 内容をしっかり確認  
 修理をキャンセルしたときの違約金や保険金請求申請サポート費用等の名目での成功報酬など、高額な請求を受ける可能性があります。

**ポイント1**  
 補償対象になるか  
 問い合わせる  
 経年劣化は補償対象になりません。壊れた原因や壊れたものが共済事故として補償対象になるか、問い合わせしましょう。虚偽の理由で保険金を請求すると詐欺に該当するおそれがあります。

**建物共済**  
 よくある質問

**Q** 複数の保険に加入している場合、支払われますか?  
**A** 加入している建物の価額まで、それぞれの共済・保険が分担して支払うことになっていきます。しかし、契約金額の合計が建物価額を超えているときは、超えている金額分については、それぞれの契約金額に応じて減額して支払われます。

**Q** 「建物」には何が含まれますか?  
**A** 「建物」には、その附属設備(電気・ガス・水道・冷暖房設備など)が含まれます。建物内に収容されている家財は「家具類」となります。建物は1棟ごとの加入となります。

なお、申込時に別途申し出た場合のみ、門、塀、垣、工作物(カーポートなど)を建物に含むことができます。



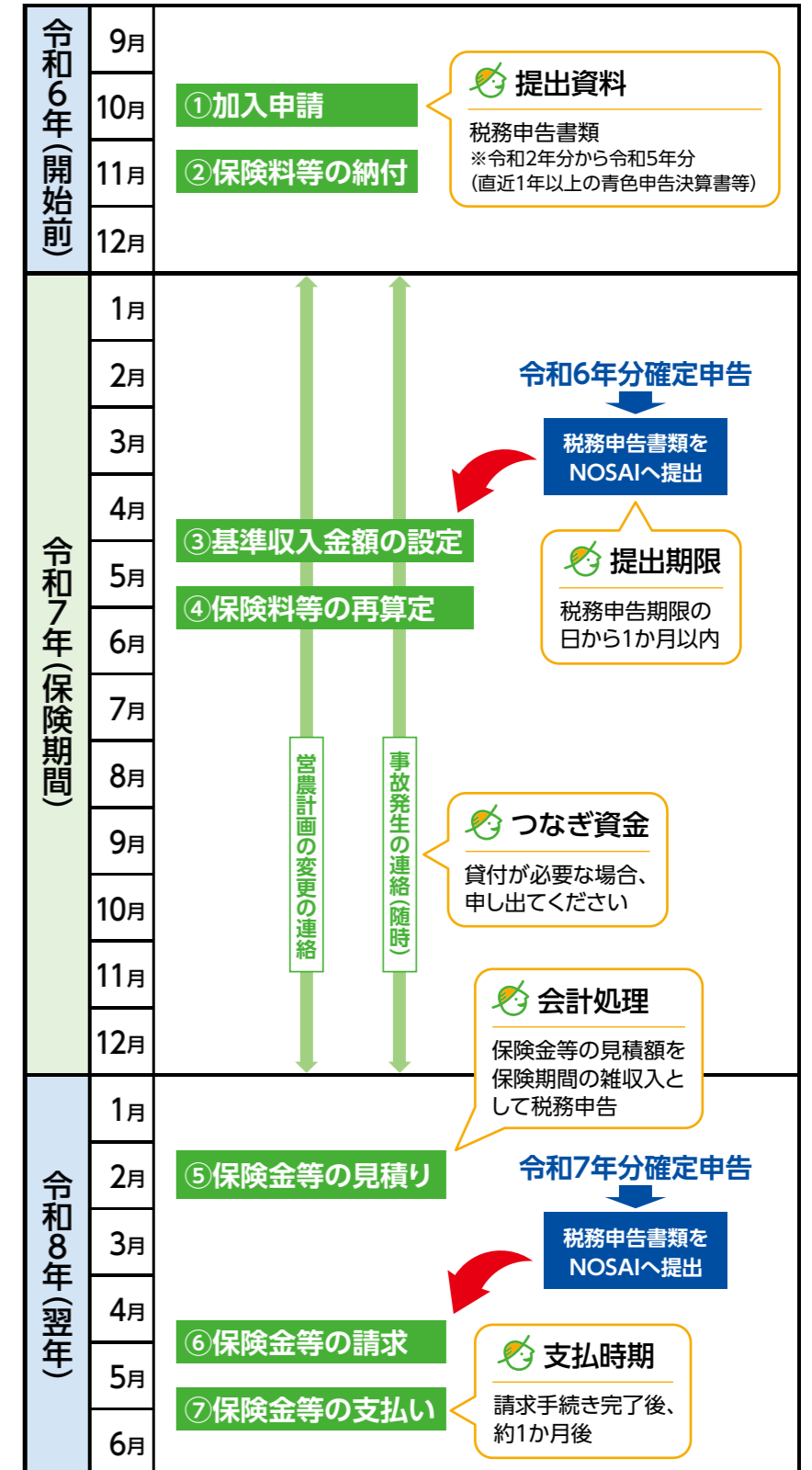


## 収入保険加入で経営充実

収入保険は、加入する農業者が栽培し販売する農産物の収入減少を補償します。  
収入保険に加入して、自然災害や価格低下など、経営努力では避けられないリスクに備えましょう。

### ■収入保険年間スケジュール(個人の場合のイメージ)

保険期間は令和7年1月1日~12月31日



### つながり資金の貸付け

保険金等の支払いが見込まれる場合は、保険金等の支払いまでのつなぎとして、「つながり資金(無利子)」の貸付を受けることができます。保険金等の支払いの際に、支払うべき保険金等から貸付額を差し引きます。

### 青色申告をはじめよう

収入保険に加入するためには青色申告書類が必要です。令和7年より青色申告を始めるには、令和7年3月15日までに「青色申告承認申請書」を納税地の所轄税務署長に提出ください。

### 青色申告のメリット

- ・最大で65万円の特別控除(簡易簿記は最大10万)
- ・専従者給与を必要経費に算入できる
- ・赤字の繰越しや繰戻しが可能

NOSAI職員が熱心に勧めてくれたことで加入しました。その年、米価の下落が顕著で、保険金を受け取ることになりました。改めて保険の必要性を認識したと同時に、制度の理解も深まりました。

### 収益確保は経営者の責任

経営の責任者として、今後従業員への給料を確保し、設備の投資も進めていかなければなりません。若い世代の人材を雇用し、次世代へ引き継ぐことができる組織にしていきたいです。

### 保険の必要性を認識

水稲では、収量や品質が安定した地域です。収入保険は、

## 次世代に引き継ぐ農業経営を



能美市 株式会社 ななさとファーム  
代表 小藏 和浩さん(63歳)  
◆経営内容◆  
水稲 45ha、麦・大豆各 15ha

## 加入者の声

### 実習生受け入れ規模拡大

妻とともに河北潟でレンコン栽培に取り組んでいます。就農して10年、栽培技術を磨きながら、経営規模を拡大してきました。前職で培った営業力を生かして販路開拓にも力を入れています。

### 保険加入で不安解消

レンコンは8月から翌年5月まで収穫が続く、掘るまで収量や状態がわかりません。気象災害や病虫害も心配ですが、家族経営者にとって病気や体調不良も心配のひとつです。収入保険は日々の不安を解消してくれる、農業者にとって良い保険だと思ひ令和

### 制度への信頼高まる

4年に加入を決めました。その年、契約していた実習生が来日せず、人手不足で収穫作業が進みませんでした。販売収入は見込みより大幅に少なくなり、保険金の支払いを受けました。保険金算定の基礎となる基準収入金額が、過去5年間の販売実績や規模拡大特例により設定されており、保険制度への信頼が増しました。

農業はやりがいのある職業です。今後も、消費者に誇れるレンコンを届けるため頑張りたいです。

金沢市 藤田 篤さん(39歳)  
◆経営内容◆  
レンコン 4 ha





水稲共済

経営にあわせて方式を選択  
令和7年産 水稲共済の引受が始まります

加入申込み期間  
令和7年  
2月10日から4月10日



「水稲共済加入申込書兼変更届出書」は、需要に応じた米生産の推進及び経営安定所得対策の実施に必要な「水稲生産実施計画書等」と一体化様式となっております。前年に選択した加入方式が記載されていますので確認して下さい。

水稲共済の加入・未加入にかかわらず、内容を確認して必ず提出をお願いします。

共済責任期間

本田移植期（直播の場合は発芽期）から収穫するまでの期間

加入対象者

水稲、麦の耕作面積の合計が10a以上の農業者（農業法人・生産組織を含む）

対象となる共済事故

風水害、干害、ひょう害、冷害、凍霜害、雪害、雨害湿

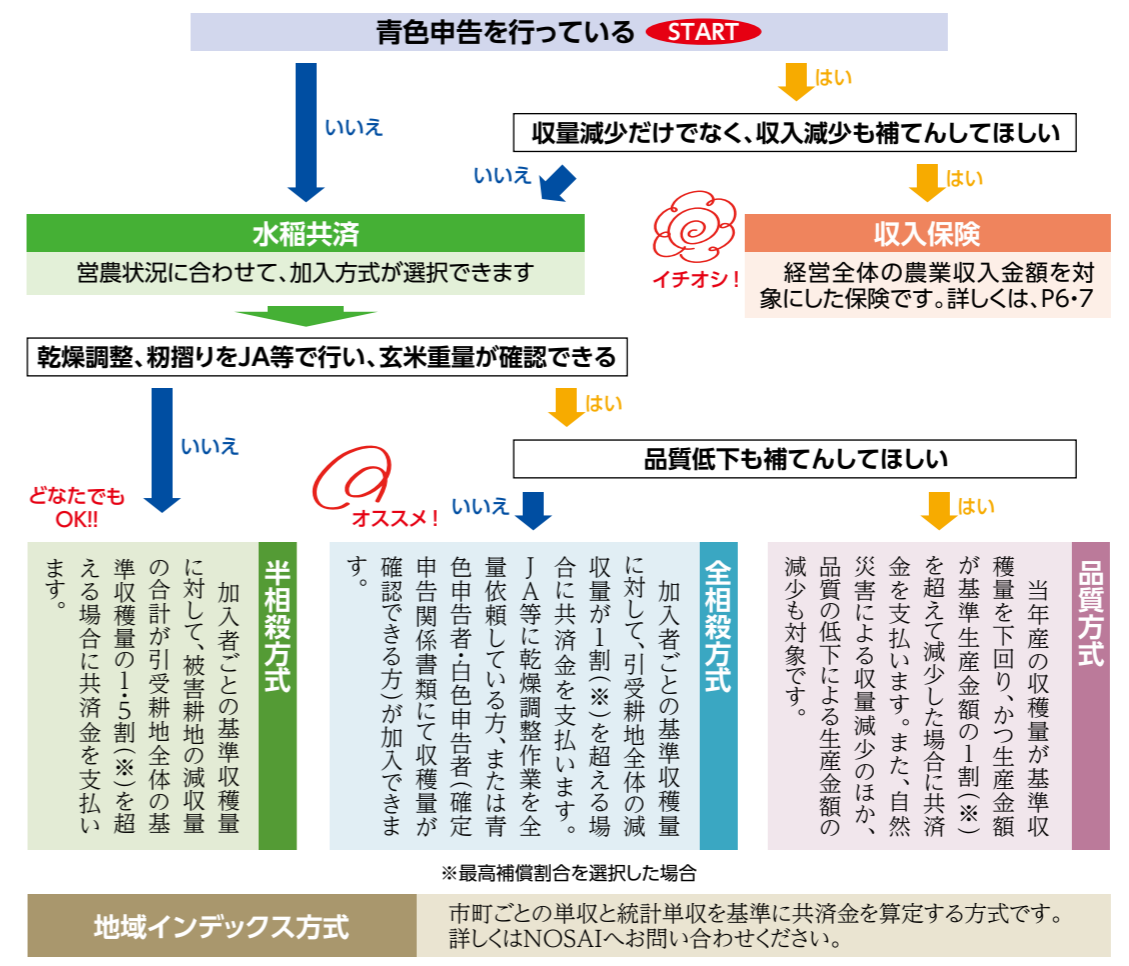
潤害、土壌湿潤害、その他気象上の原因（地震及び噴火を含む）による災害、火災、病害、虫害、鳥害、獣害。ただし、薬害等人為的な災害は含まない。

一筆半損特約

耕地ごとに収穫量が5割以上減収があったと認められる場合（全損を除く）に、基準収穫量の2割分を共済金として支払います。



経営にあった加入方式を選びましょう



雪害から守る  
農業ハウスの再点検をしましょう

育苗ハウス  
加入受付中



本格的な降雪の前に、農業ハウスの補強ポイントを今一度確認しましょう。  
また、春の強風で、水稲育苗中のハウスが大きな損害を受けることも考えられます。

リスクへの備えとして、園芸施設共済のご加入をご検討ください。

加入できるのは

特定園芸施設

- ・プラスチックハウス
・雨よけ施設
・多目的ネットハウス
・ガラス室

組合員、または設置面積200㎡以上の特定園芸施設を所有または管理している農業者（全棟加入）

共済責任期間

共済掛金の払い込みを受けた日の翌日から1年間

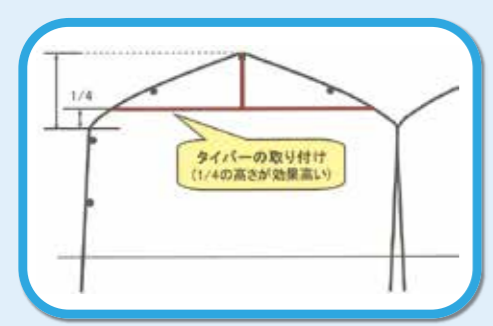
手厚くサポート

- 掛金の半分は国が負担
○地震や津波、噴火も補償
○新築価額まで補償可能
○掛金をおさえるタイプもあり



降雪前に点検して  
予防減災に努めましょう

補強対策をチェック!



融雪パイプの設置



単管の設置



中柱の設置

降雪前の準備・点検

- ブレースや筋かいの留め金具に緩みがないか確認しましょう
□ 被覆資材の破れや隙間の点検、補修を行い、保温性向上に努めましょう
□ 基礎部が腐食している場合は、パイプの交換や補強資材により強化しましょう
□ 谷樋や排水路、周辺の残雪やゴミは取り除きましょう
□ 被覆資材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物がないか確認しましょう
□ 雪の滑落を妨げる防風ネットや遮光資材の展張がないか確認しましょう
□ 作物を栽培していない場合は、被覆資材を外しましょう

農林水産省ホームページより





ホーリーバジルの  
管理をする山岸代表



「苺ソフトクリーム」



トウキの栽培は長期戦



山間地を整地した薬草園

## 山間地で薬草栽培 交流を楽しむ

白山市  
みこしみずやくそうくみあい  
神子清水薬草組合  
やまきしじゆん  
代表 山岸 淳さん (71歳)

「学生との交流や新しいこ  
とへの挑戦は楽しい」と話す  
のは、白山市神子清水町の神  
子清水薬草組合の山岸淳代表。  
同組合のメンバー13人は、薬  
草栽培を軸に様々な活動を展  
開し、生き生きとした日々を  
送っている。

**大学と連携し国産化に挑戦**

同組合が管理する薬草園は、  
8年前耕作放棄地を整備した  
もので、良品質の国産生薬生  
産を研究する金沢大学医薬保  
健研究域薬学系の佐々木陽平  
教授の指導を受け、トウキや  
シヤクヤクなどを栽培してい  
る。

主に栽培するトウキは、根

の部分に冷え性の改善などに  
効能があり、漢方薬の原料と  
なる。前年5月に播種し、育つ  
た苗を当年の5月にほ場へ移  
植し、11月に収穫。その後乾  
燥させて、翌年の4月によろ  
やく出荷となる。

連作障害を防ぐため、40<sup>㍻</sup>  
ずつのブロックローテーショ  
ンを行う。獣害対策に電気柵  
を設置しているが、シカやサ  
ル、イノシシの侵入に苦慮し  
ているという。

通常廃棄される葉や茎を  
使った入浴剤や、葉を加工し  
たパウダーを振りかけるソフ  
トクリームなどを商品化し販  
売するほか、ホーリーバジル  
やトルコキキョウなどの栽培

にも取り組む。

**活気ある「コミュニティ」**

また、集落の空いたホテルを  
改築して、同組合の女性たち  
が軽食スペースとして活用し  
ている。営業は冬季を除く土  
日のみだが一般客の利用も可  
能で、コミュニケーションの  
拠点として地域住民にも好評  
だ。

山岸代表は、「採算性に課  
題はあるが、これからも農地  
を守り、活気あるコミュニ  
ティを維持したい」と話す。



野菜の管理をする山本正秋さん（左）と妻の由美子さん



昨夏のカボチャの出荷は順調



ハウスを点検する正秋さん

七尾市  
やまもと まさあき  
山本 正秋さん (59歳)  
ゆみこ  
由美子さん (56歳)

七尾市中島町で水稲14畝と、  
金糸ウリや白ネギなど野菜1  
畝を栽培する山本正秋さんは、  
地震被害により昨年の栽培計  
画を縮小することになったも  
の、前向きに営農に取り組  
んでいる。

「周囲からムリするなと声  
をかけられ、除草を手伝って  
くれた人もいる。感謝の気持  
ちをもって今後も営農を続け  
ていきたい」と話している。

**地震被害の復旧に奮闘**

露地やハウスで野菜を栽培  
している中島干拓地では、液  
状化と排水路の隆起が発生し、  
生育途中だった冬野菜のほと  
んどが出荷できなかった。ハ  
ウスは7棟のうち4棟が被災。

3月中に給排水設備を修理し、  
ゆがんだままのハウスで計画  
通り4千枚の水稲育苗を行っ  
た。

全壊した納屋から運びだし  
た農機具をハウスに格納した  
ため、使えるハウスが不足し、  
予定していた夏野菜の植え付  
けを一部断念。例年通り作付  
できた露地の夏野菜は順調で、  
カボチャに日焼け防止用ネッ  
トを試すなど精力的に管理し  
てきた。

壁の崩落によって変形した  
コンバインや落下した瓦が当  
たった田植機など、農機具の  
損害額は800万円を超える。  
ハウスの復旧には園芸施設共  
済金を、農機具や関連設備の  
修理や購入には事業助成金な  
どの利用を進め、今春の完全  
復旧を目指している。

**夫婦力を合わせて**

専業農家だった父から引き  
継ぎ、自身も専業となって10  
年が経つ。一昨年から妻の  
由美子さんも加わった。

山本さんは、「栽培技術は  
まだまだ学ぶことばかりで先  
輩農家のアドバイスを頼りに  
しています。これからは、野  
菜栽培に力を入れていきたく  
い」と話している。

地震で被災  
感謝忘れず営農続けたい





# わがまち\* \*この人

## 市街化地域で 小規模農家が力を合わせ

金沢市  
寺中町共同農作業部会  
代表 本堂 敬二さん(74歳)



本堂代表(左から1人目)と稲刈り作業をした会員

同町は、かつては世帯数30戸の農村集落だったが、現在は、世帯数が800戸を超える町会となった。それに伴い離農も進み、わずかに残った農家も極小規模で高齢化している。現存する3・3畝の農地が、今後、耕作放棄地にな

### 農地の荒廃を危惧

「宅地化が進む中、農地の荒廃を防ぎたい」と話すのは、金沢市の寺中町共同農作業部会の本堂敬二代表。同部会では、2・5畝の水稲を耕作し、播種から乾燥までを行っている。令和3年に設立し、生産性向上と担い手育成、環境保全に取り組んでいる。

### 「見える化」でスキルを共有

会員は50代から80代の8人で、ベテラン農家がいる一方で、農地を所有しているだけの農業未経験者もいる。農業技術を標準化するため、各圃場に水位棒を立て、数値化して水管理するなど、基準を明確にした作業ルールを作り、



コンバインに取り付けた GPS 移動局受信機



休憩時の談笑が楽しみのひとつ

「見える化」に取り組む。また、GPSの情報を入手し様々に活用している。農機具を運転する際は、移動局受信機を搭載し、ガイドとして利用する。「勘やキャリアがなくても作業できる」と、不慣れな会員から好評だという。作業後は、入手したデータによって圃場の様子や生育状況、作業効率などを検証している。

本堂代表は、「小規模農家も力を合わせて、農地保全に寄与していることを知ってほしい。後継者養成につながるよう農業の魅力を発信していきたい」と話している。

中能登町久江の住民グループ「つむぎの会」(松木博会長)では、地区で育苗を終えたピニールハウスを有効活用しようとして、2年前からメロン栽培に取り組んでいる。地区の活性化に貢献したいと非農家を含め13人が活動し、ハウス2棟で協力して作業を行う。

地震で被災した同地区の神社の再建費用を賄うために始めたクラウドファンディングの返礼

品としてメロンを提供。復興の想いを込め、メロンは「のつむぎ」と名付けた。

会の立ち上げ当初から中心に活動する野菜農家の眞田将充さんは、「震災後の大変な時期でも多くの人が栽培に携わってくれた。今後はふるさと納税の返礼品にもなるので、ブランド化を進めていきたい」と意気込む。

## 震災の復興を願って メロンのブランド化を目指す

中能登町  
住民グループ「つむぎの会」  
眞田 将充さん(37歳)



会員と協力して管理に取り組む眞田さん(右)

かほく市気屋の農事組合法人高峰ファームでは、水稲25畝を中心にイチジクやフリージアの栽培に取り組む。中でも、「木成り完熟いちじく」は、同市の特産品ブランドに認証されている。

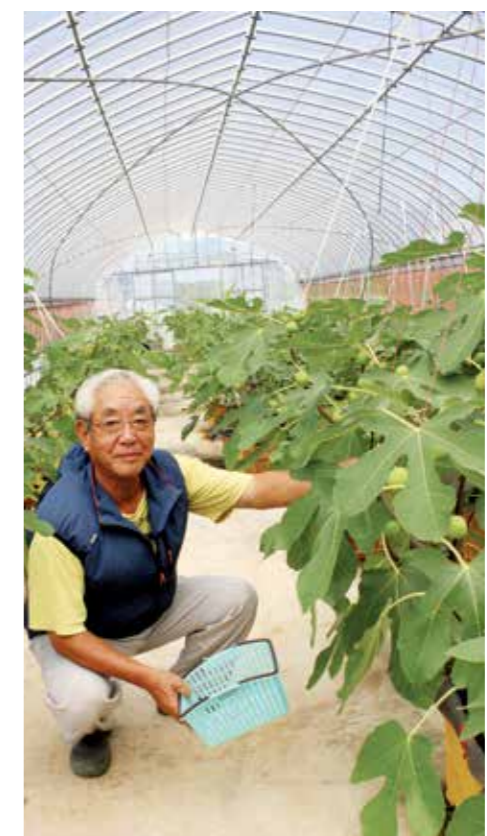
同法人では、3年前からハウスでのコンテナ栽培に取り組んでおり、水稲の育苗後のハウス4棟に、イチジクを植栽した350個のコンテナを運び入れ

る。水管理や施肥管理は、コンテナ全てにホースをつなぎ自動制御している。ハウス内はコンクリート敷で、天候を気にせず、足元を汚さずに収穫できる。

同法人は同地区の様々な職種の人で構成されており、種本博代表は、「それぞれの強みを活かしてこれからも営農を続けていきたい」と話している。

## イチジクのコンテナ栽培 育苗ハウスを有効利用

かほく市  
農事組合法人 高峰ファーム  
代表 種本 博さん(75歳)



「これからも新しい技術に取り込んでいきたい」と種本代表





令和7年  
1月20日  
締切

12月から  
3月までのうごき

12月28日～1月5日

年末年始休業

1月29日

理事会

2月1日

果樹共済加入申し込み開始

2月10日

水稲共済加入申し込み開始

2月

収入保険

農業収入金額実績申請書兼  
保険金等請求開始

3月

余裕金運用管理委員会  
理事会

### 共済金を支払いました

	支払日	支払戸数	支払共済金
水稲	12月5日	308戸	55,761,813円
麦	12月5日	61戸	27,614,977円



川の氾濫により土砂や草木が流入した水田

#### 水稲被害概況

##### 風水害

6月・7月の降雨、9月下旬の豪雨により、浸水や冠水及び土砂の流入等による埋没が発生しました。

中山間地域を中心にイノ

シシヤサルの侵入による被害が発生しました。

#### 麦被害概況

##### 土壌湿潤害

播種後の降雨及び冬期間の降雪・積雪の影響で土壌湿潤害による初期生育不良が発生し、収穫量が減少しました。

### ホームページをリニューアル

当組合のホームページをリニューアルし、組合員の皆さまが、より使いやすいようにデザインや構成を見直しました。スマートフォンやタブレットの表示に対応しました

ので、デバイスを問わずに、より快適に操作し、閲覧いただけます。これからも、有益な情報やコンテンツの拡充に努めてまいります。

### 組合までご連絡を

#### 事故発生時

職員が事故の現地を確認します。連絡が遅れると事故の原因が特定できなくなり、共済金をお支払いできないことがあります。

### 掛金納入は口座振替で

コンプライアンスに沿った対策及び組合員の利便性向上を図る観点から、集金業務を原則廃止します。お早めに口座振替依頼書の提出をお願いします。

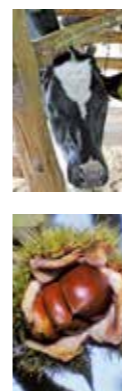
適正な組合運営のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ニーズ調査実施中

共済対象品目のうち、現在石川県で実施されていない品目について、加入希望がありましたら、組合までご連絡ください。

### 実施している共済事業

- ・水稲共済
- ・麦共済
- ・大豆共済
- ・果樹共済（りんご・ぶどう・なし・かき・くり）
- ・家畜共済（牛・豚）
- ・園芸施設共済
- ・建物共済
- ・農機具損害共済



### お便りコーナー

毎年、同じように野菜作りや米作りをしていますが、天候や害虫のせいでも、なかなか上手にできませんね。「虹」で、頑張っている方々を紹介しています、励みになります。

(中能登町 Mさん)

各地の若い農業後継者の方々が、未曾有の災害にも屈することなく、挑戦する記事を読み、頼もしく思います。今後地域のリーダーとして活躍していただくことを期待いたします。心よりエールを贈ります。

(金沢市 Sさん)

### 皆さんからの声募集します

NOSAIや広報紙へのご意見、身近な話題や農業について思うことをお聞かせください。お寄せいただいた声はお便りコーナーで紹介させていただきます。

### 獣医師募集

#### 地域農業を支える仕事です

##### 〈勤務内容〉

農業保険法に基づく一般業務および家畜診療に係る業務

##### 〈採用条件〉

- 大学卒業または卒業見込者で獣医師資格取得者または採用年月日までに取得される方(昭和56年4月2日以降に生まれた方)
- 普通自動車運転免許取得者または採用までに取得される方

詳しい募集要項はコチラ



### 交付対象機器

令和6年1月1日から  
同年12月31日までの間に  
購入した以下の機器

#### 1. 農薬散布ドローン

1台当たり購入額 40万円以上に限る

#### 2. 動力噴霧機（器）

1台当たり購入額 20万円以上に限る

#### 3. 水田乗用管理機 （ブームスプレーヤ）・ 産業用無人ヘリコプター

1台当たり購入額 50万円以上に限る

#### 4. スピードスプレーヤ（SS）

1台当たり購入額 50万円以上に限る

交付申請の際は、交付申請書と1台ごとの、型式が明記されている領収書（写し）の提出が必要です。

※交付対象者、交付申請書など、詳しくは管轄のグループへお問い合わせください。

農作物共済、果樹共済及び畑作物共済事業の健全な運営を図ることを目的に、損害防止に要する対象機器を購入した経費の一部を助成します。

損害防止事業 機器購入経費の一部を助成します

### 農業共済新聞

#### 購読しませんか

試し読みキャンペーン実施中





# 石川県農業共済組合

## ■ 本 所 ■

〒920-0007  
 金沢市田中町か 26 番地 1  
 TEL 076-239-3111 (代)  
 FAX 076-203-0031  
 Eメール  
 kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

NOSAI石川  
 ホームページ

NOSAI石川  
 Facebook



各グループのお問い合わせ先は  
 こちら

## 【本所別館】

〒920-0007  
 金沢市田中町か 12 番地 1

### 南加賀グループ

TEL 076-239-2355  
 (加賀市・小松市・能美市・  
 川北町)

### 石川中央グループ (白山・野々市地区)

TEL 076-239-2555  
 (白山市・野々市市)

### (金沢・河北地区)

TEL 076-239-2555  
 (金沢市・かほく市・津幡町・  
 内灘町)

### 能登グループ

(羽咋郡市・中能登町地区)  
 TEL 076-239-2455  
 (羽咋市・志賀町・宝達志水町・  
 中能登町)

### 【奥能登支所】

〒928-0313  
 鳳珠都能登町字天坂に 1 番地 1

### (七尾市・奥能登地区)

TEL 0768-76-2251  
 (七尾市・輪島市・珠洲市・  
 穴水町・能登町)

NOSAI石川広報紙「虹」  
 新年号 vol.40  
 2025年1月発行

7年前に三重県から七尾市に移住しました。地元の農産物を使った料理とアクティビティを提供する店で、イルカウォッチングのガイドをしています。

地震で被災し、今は60キロ離れたかほく市に転居しました。大好きな能登の海や山の風景を守り、復興の力になりたいです。

能登牛のバーベキューは絶品です。ぜひ、足を運び能登の自然を満喫してほしいです。



かほく市  
 もり た 森田  
 あかね 茜さん (31歳)

## きらきらひかる

—えがお輝く石川の星—



穴水町  
 しのみず 清水  
 けん た 健太さん (30歳)

生まれ育った故郷の役に立ちたいと思い、地元の建設関係の仕事に就職して6年目になります。

今は、奥能登地域で傷んだ浄化槽の工事が主で、一日でも早い復興を目指して、頑張っています。

休みの日には、バイクで北陸をツーリングして、リフレッシュしています。

仕事で水田の区画整理に関わることもあります。農家の皆さんが安心できる立派な畔を作っていきます。

**NOSAIクイズ**  
 収入保険のキャッチフレーズ  
 「○○○」に当てはめる、あなたへのエール。  
 ひらがな3文字でお答えください

### 応募方法

クイズの答えと必要事項を明記してハガキ・FAXまたはEメールでご応募ください。正解者の中から抽選で、5名の方に図書カードを進呈いたします。当選者は氏名のみ次号に掲載させていただきます。

FAX 076-203-0031  
 Eメール kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

85	920-0007
金沢市田中町 か26番地1	
NOSAI石川 クイズ係行	
お名前	
〒	
お住まい	
クイズの答え	
郵便番号・住所	
氏名・年齢・電話番号	
NOSAIへのご意見	
広報紙のご感想など	

### ● 締め切り / 2月5日(木) 必着 ●

39号クイズ  
 当選者(敬称略)

北松田 光代 前田 茂行  
 小松 和美 清水  
 小沢 充 朔